

お知らせ

「サイエンス・フロンティアつくば999」開催のお知らせ 地球科学部会では固体地球と流体地球の話題を提供

— 1999年11月17日(水)～19日(金)・つくば国際会議場 —

江崎玲於奈前筑波大学学長をゼネラルチェアに、つくばの研究者が中心となって組織する会議「サイエンス・フロンティアつくば999」(略称・SFT999)が下記の通り開催されます。テーマは「科学と技術の限界に挑む」です。

この会議は「つくば国際会議場」の開館記念自主事業として企画され、研究学園都市としてのつくばを強く意識したのですが、主たる目的は、“つくば”の科学者、技術者と共に、ノーベル賞受賞者などを含む国内外の著名な研究者の参加を得て、分野を越えた広い討議によって、科学と技術の将来展望を図ろうとするものです。

初日には、世界的に著名な科学者によるオープニング・プレナリーなどが予定されています。地球科学分野の関連では、カリフォルニア工科大学の金森博雄先生による「大都市の地震防災のための科学と技術の連携」と題する基調講演が行われます。

2日目は、6部会(構造生物学部会、脳科学部会、農業科学部会、物質科学部会、地球科学部会、情報通信科学部会)に分かれた部会討議の場が持たれます。そのうち「地球科学部会」では、座長を片山恒雄防災科学技術研究所長と世界水会議の高橋裕先生にお願いし、大地震の発生と豪雨災害の発生の長期予測のように、類似の問題について固体地球と流体地球とで交互に話題を提供し、お互いに刺激を与えあって議論出来るようにプログラムが組まれています。また、出来るだけ多くの時間を会場全体での議論にあてる予定になっています。

会期中は、筑波研究学園都市における先端的な研究のポスター展示・デモンストレーションも行われます。

多くの皆様、特に21世紀の科学技術を担う若い研究者の皆様の積極的参加を期待し、SFT999の開催をお知らせします。

記

主 催：つくば国際会議場自主事業組織委員会

共 催：茨城県、土浦市、つくば市、笠崎町

後 援：科学技術庁、農林水産省(予定)など

日 時：1999年11月17日(水)～19日(金)

会 場：つくば国際会議場(茨城県つくば市)

公用語：日本語・英語(同時通訳あり)

日 程：11月17日(水) オープニング・プレナリー、パネルディスカッション、歓迎パーティ

11月18日(木) 部会討議、つくばセッション

11月19日(金) クロージング・プレナリー、研究機関エクスカージョン

登録料：一般 20,000円(25,000円) 学生6,000円(8,000円)

予稿集、歓迎パーティの経費を含みますが、プロシーディングスの料金は含まれません。

()内は1999年10月1日以降の場合

セカンド・サーキュラーが発行されております。ご希望の方は、SFT999事務局までご連絡下さい。

また、より詳細なことは、ホームページ(<http://www.sft.gr.jp>)をご覧ください。

SFT999事務局 〒102-8646 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館

(株)アイシーエス企画内

TEL:03-3263-6153, FAX: 03-3263-7318

e-mail: sft999@ics-inc.co.jp

SFT 999 プログラム

11/16 (火)	登録 13:00 ~ 17:00	
11/17 (水)	開会式 9:00 ~ 9:45 オープニング・プレナリー 10:00 ~ 18:00 共通テーマ 「21世紀の科学と技術-今世紀の考察と来世紀への展望」 ・自身の「限界に挑む」話 ・現在の研究, その成果, 今後の発展 ・21世紀の研究分野における限界や展望について パネルディスカッション(全体会議) 18:15 ~ 19:30 パネリスト 各部会のプレナリースピーカー6名 コーディネータ 江崎 玲於奈 討議内容 基調講演を受けてのフリーディスカッション ウェルカム・パーティー 19:30 ~ 21:00	ポスター展示 & デモンストレーション
11/18 (木)	部会セッション(6部会パラレル) 9:00 ~ 15:30 共通の問題意識「部会における21世紀の展望」 つくばセッション(全体会議) 16:00 ~ 18:30 パネル・ディスカッション テーマ 世界のつくば コーディネータ 餌取 章男 バンケット 19:00 ~ 22:00	ポスター展示 & デモンストレーション 同伴者プログラム 笠間一日観光
11/19 (金)	クロージング・プレナリー 9:00 ~ 12:00 討議内容 「部会総括と今後の展望-21世紀のサイエンスとつくば」 部会長によるパネルディスカッション コーディネータ 江崎 玲於奈 閉会式 12:00 ~ 12:30	ポスター展示 & デモンストレーション 研究機関 エキスカーション

「地球科学部会」プログラム(11月18日開催)

司会(コーディネータ):片山恒雄・高橋 裕

部会テーマ「自然と人間との共存に地球科学の果たす役割」

Christopher Newhall(USGS)	「火山噴火予測における科学技術と社会的要請の接点」
佐竹健治(地質調査所)	「古地震調査と大地震の長期予測」
吉谷純一(土木研究所)	「豪雨の発生頻度の予測と限界」
鷺谷 威(国土地理院)	「地殻活動のモデリングとシミュレーション」
野田 彰(気象研究所)	「自然変動と温暖化予測」
石川有三(気象研究所)	「現時点の地震予知」
Jim Mori(京都大学防災研究所)	「米国における地震及び地震動予測」
杉 正人(気象研究所)	「天気予報から気候予測へ」
藤原広行(防災科学技術研究所)	「地震災害軽減技術としての強震動予測」
末次忠司(土木研究所)	「氾濫解析技術を用いた水害予測」

総合討論「近代社会と災害」(固体と流体の接点)

片山恒雄(防災科学技術研究所)・高橋 裕(世界水会議理事)